

# 令和7年度 学校経営参画等に関する調査結果

回答数（135人／190人）

| 校種別 | 小学校 | 中学校 | 特別支援学校 | 中等教育高等学校 | 合計   |
|-----|-----|-----|--------|----------|------|
|     | 89人 | 41人 | 3人     | 2人       | 135人 |

| 職位別 | 総括事務主幹 | 事務主幹 | 主任  | 主査  |      |
|-----|--------|------|-----|-----|------|
|     | 2人     | 1人   | 5人  | 53人 |      |
|     | 副主査    | 主事   | 事務員 |     | 合計   |
|     | 34人    | 26人  | 14人 |     | 135人 |

※ 記述回答については一部抜粋となっています。  
下記の設問の中で「※」となっている箇所は右側QRコードで読み取り確認ができます。



## 1 学びの環境整備の取組

（１）自校での学びの環境整備において、取り組んだ実践について ※

- ・旧PC室を普通教室へ改修整備
- ・iPad活用に合わせ、児童用机を新JISへ更新
- ・特別支援教室や通級指導教室の環境整備
- ・教材・学用品の学校備え付け化
- ・実習材料に実際に触れた教材選定の実施
- ・教育活動と予算を結び付けた環境整備
- ・学校全体での不用品整理

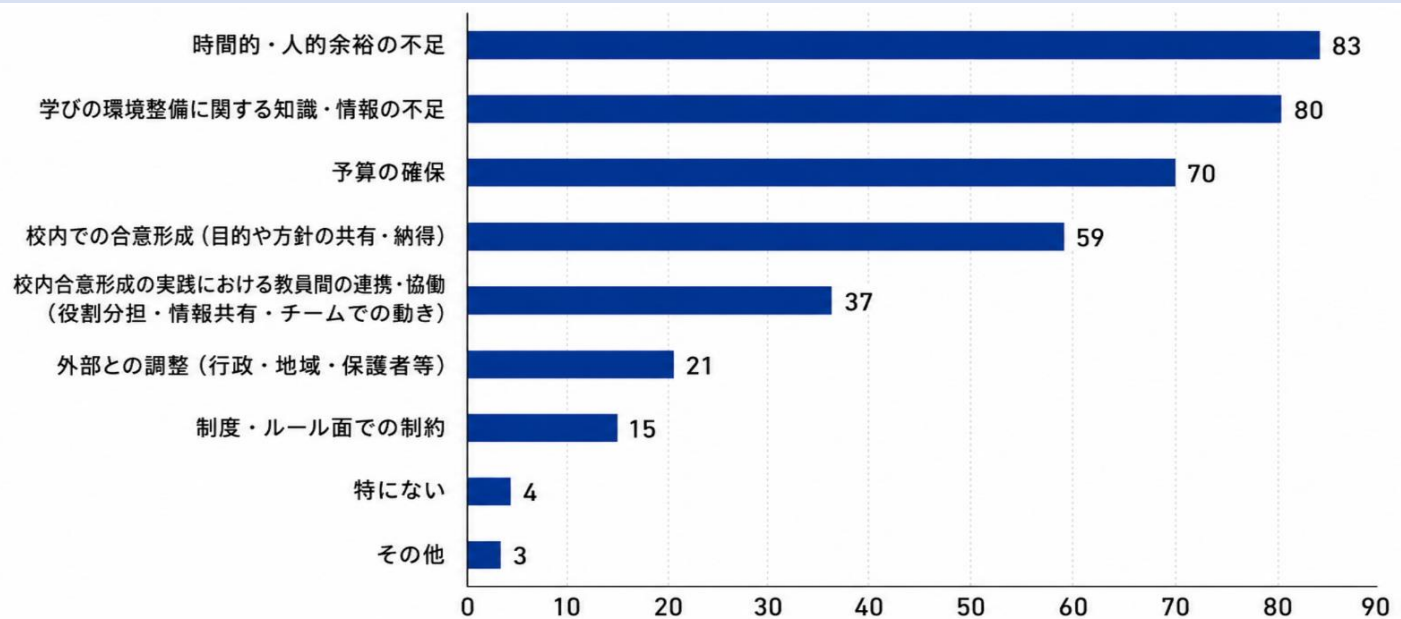
（２）共同学校事務室や地域連携等、校内以外の組織と連携した学びの環境整備の取り組みについて ※

- ・共同学校事務室で備品の共有の検討
- ・共同学校事務室で環境整備をテーマに業務改善
- ・学校運営協議会を活用した施設の整備
- ・地域資源・地域予算を教育活動に活用
- ・他校との情報共有により、良い点を自校へ還元

（３）学びの環境整備において、今後取り組んでみたいことについて ※

- ・教室・特別教室・空き教室等の環境整備
- ・多様な学びに対応した環境づくり
- ・ICTを活用した学習・業務環境の改善
- ・地域や校外組織と連携した環境整備
- ・教育活動を結びつけた予算編成の仕組みづくり
- ・共同学校事務室を活用した環境整備の推進

（４）学びの環境整備を進める上で、課題と感ずることについて（３つ選択式）

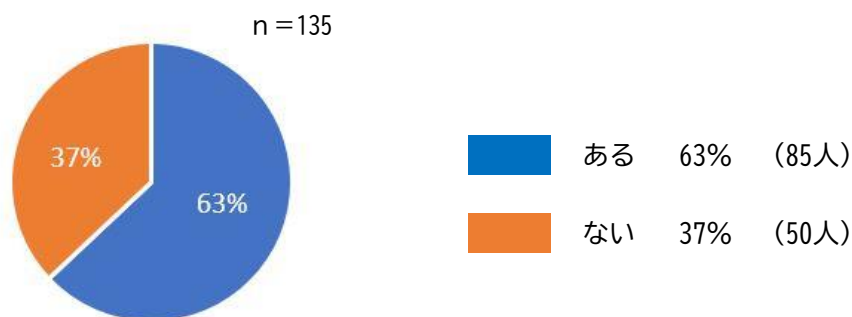


その他内訳

- 研究部の定義する「学びの環境整備」が難しすぎる
- ハード面、ソフト面の「両方」を活用するイメージが湧きづらい。大規模なものを想定してしまう。
- 職員からの意見を聞くことができる職場環境

## 2 副教材評価の実施

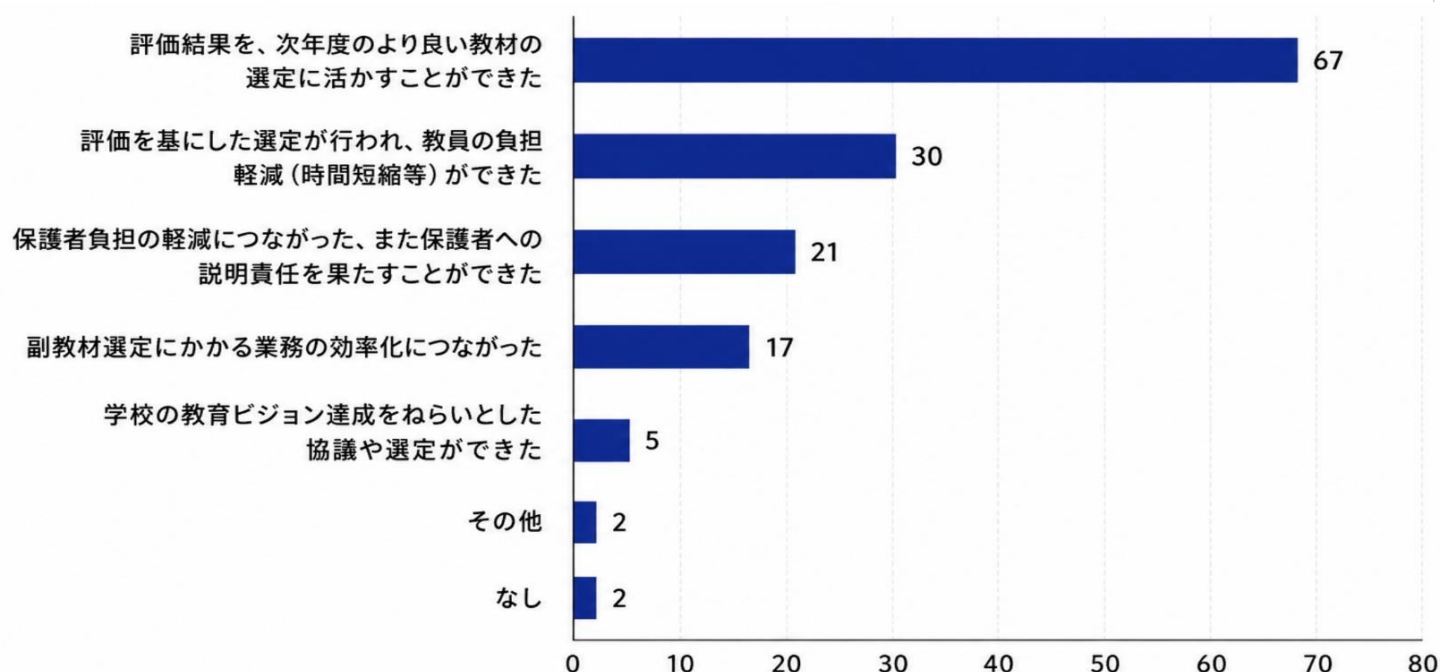
### (1) これまでに副教材評価を実施したことがあるか



### (2) 副教材評価の実施方法 ※

- ・既存の選定書を加工して「ABC評価+記述」
- ・○△×など、分かりやすい記号で評価
- ・「継続・検討・不要」にすることで次年度の評価に直結させている
- ・A・Bの二段階評価+B（改善の必要がある）の場合は記述
- ・評価と次年度の教材検討を一体化

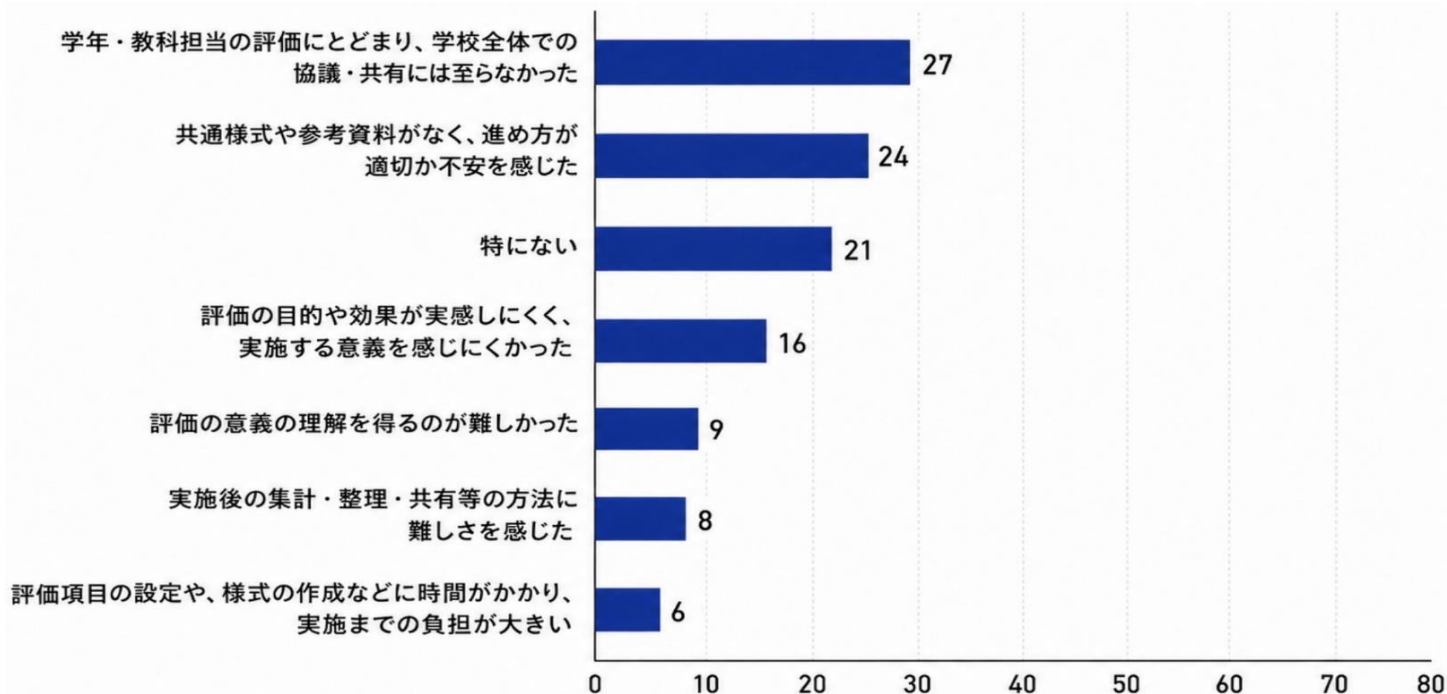
### (3) 副教材評価を実施してよかった点（2つ選択式）



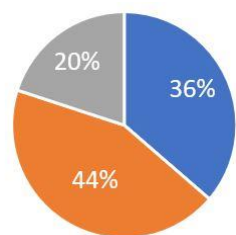
その他内訳

- 今年度初めて実施のため、不明

### (4) 副教材評価を実施して、困ったことや難しいと感じた点（2つ選択式）



### (5) 今年度副教材評価を実施するか



n = 135

|   |        |     |       |
|---|--------|-----|-------|
| ■ | 実施した   | 36% | (49人) |
| ■ | 実施する予定 | 44% | (59人) |
| ■ | 実施しない  | 20% | (27人) |

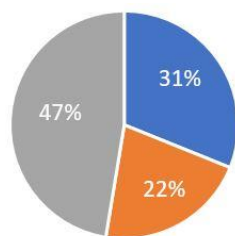
| 職位 (人数)     | 実施した      | 実施する予定    | 実施しない     |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 総括事務主幹 (2人) | 100% (2人) |           |           |
| 事務主幹 (1人)   | 100% (1人) |           |           |
| 主任 (5人)     | 80% (4人)  | 20% (1人)  |           |
| 主査 (53人)    | 40% (21人) | 43% (23人) | 17% (9人)  |
| 副主査 (34人)   | 30% (10人) | 38% (13人) | 32% (11人) |
| 主事 (26人)    | 27% (7人)  | 62% (16人) | 11% (3人)  |
| 事務員 (14人)   | 28% (4人)  | 43% (6人)  | 29% (4人)  |

### (6) 実施しない理由 ※

- ・ 時間的・人的な余裕がなく、負担が大きい 6人
- ・ 実施方法や進め方がわからない 2人
- ・ 教科担任制により、既存の仕組みで対応できるため 4人
- ・ 担当ではない、校内事情により未実施 2人
- ・ 次年度の教材選定を年度内に行うため 4人
- ・ 具体的な理由はない 1人

## 3 事務（管理）部評価の実施

### (1) 事務（管理）部の評価をしているか

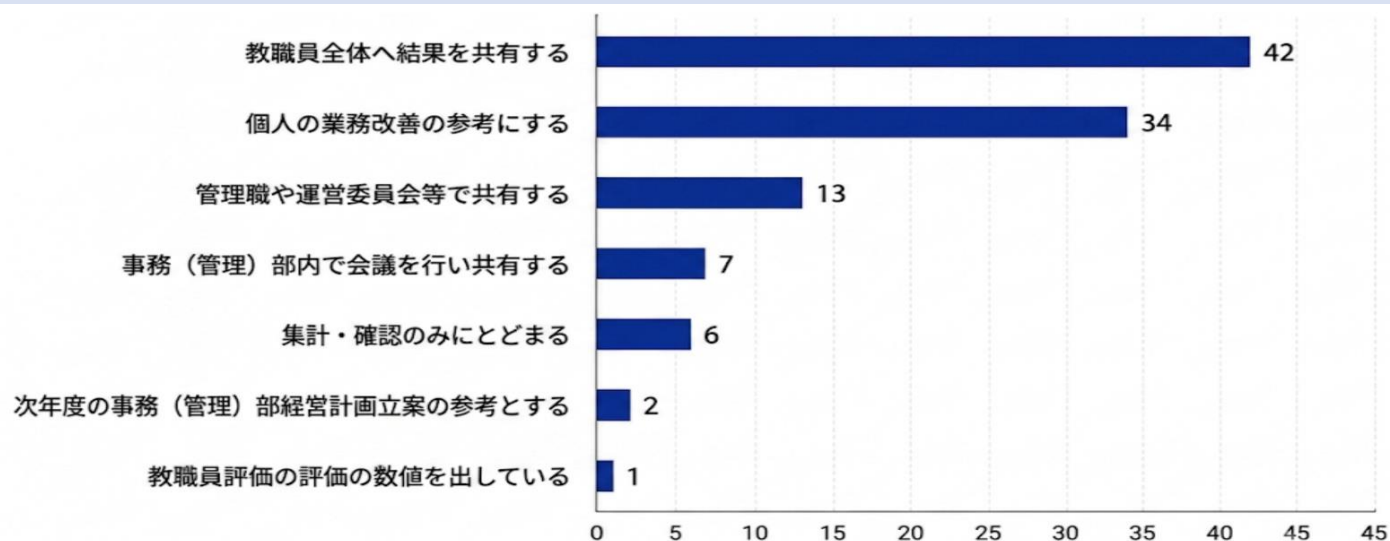


n = 135

|   |                       |     |       |
|---|-----------------------|-----|-------|
| ■ | 学校評価と一緒に実施している（予定含む）  | 31% | (42人) |
| ■ | 事務部単独で評価を実施している（予定含む） | 22% | (29人) |
| ■ | 実施しない                 | 47% | (64人) |

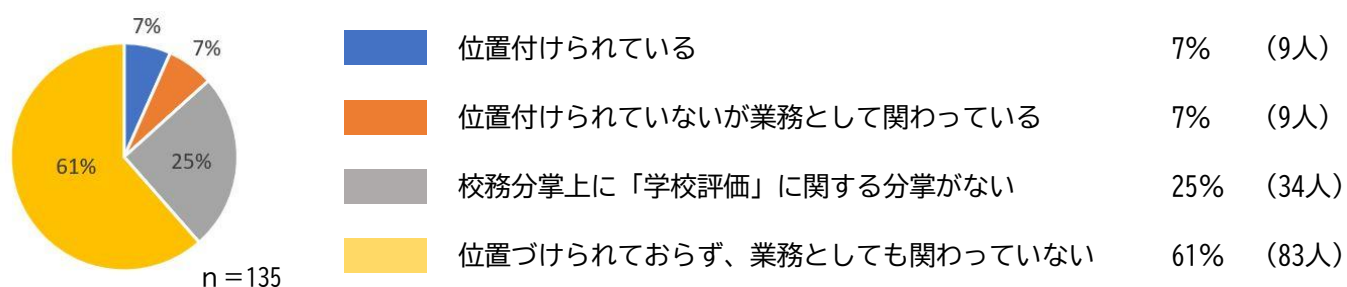
| 職位 (人数)     | 学校評価と一緒に  | 事務部単独     | 実施しない     |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 総括事務主幹 (2人) | 100% (2人) |           |           |
| 事務主幹 (1人)   | 100% (1人) |           |           |
| 主任 (5人)     | 20% (1人)  | 20% (1人)  | 60% (3人)  |
| 主査 (53人)    | 34% (18人) | 17% (9人)  | 49% (26人) |
| 副主査 (34人)   | 30% (10人) | 29% (10人) | 41% (14人) |
| 主事 (26人)    | 31% (8人)  | 23% (6人)  | 46% (12人) |
| 事務員 (14人)   | 14% (2人)  | 22% (3人)  | 64% (9人)  |

(2) 事務（管理）部評価の活用方法（当てはまるものすべて、その他記述を含む）



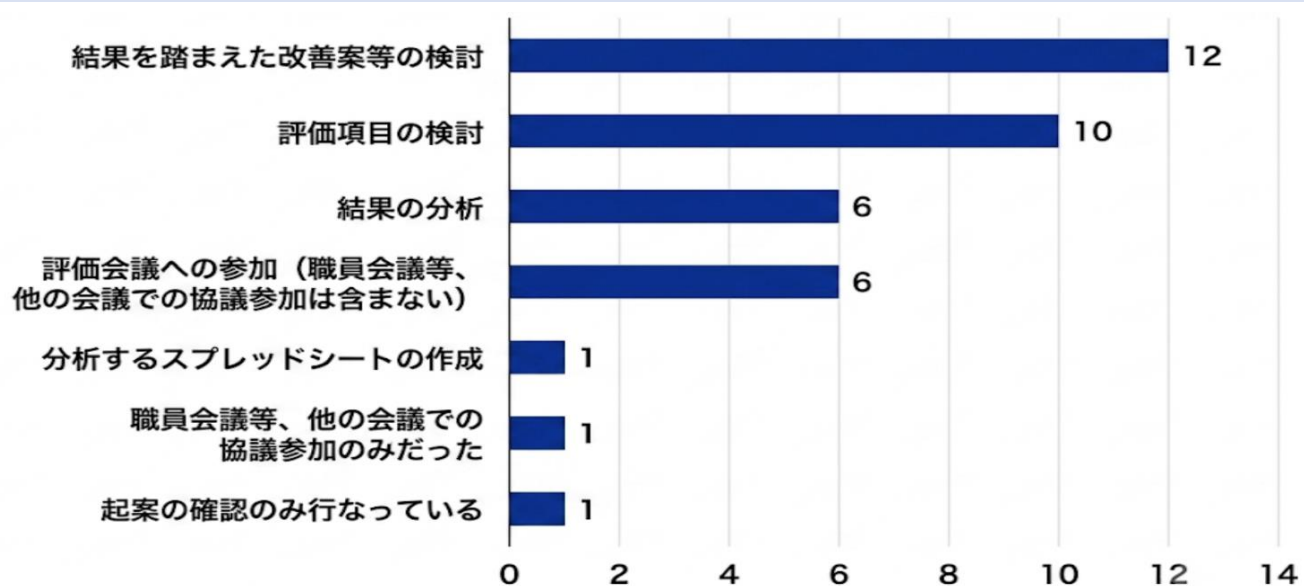
#### 4 学校評価への参画

(1) 校務分掌上、学校評価に関する分掌に位置付けられているか

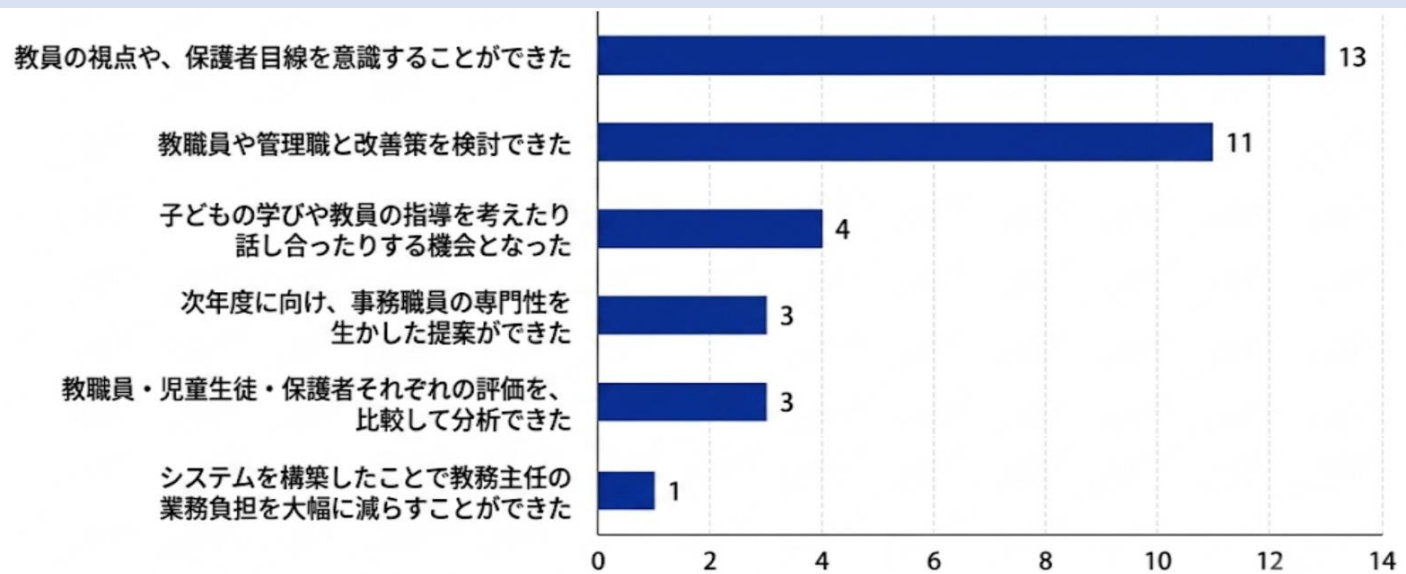


| 職位（人数）     | 位置づけ○    | 位置づけ×<br>業務○ | 分掌なし     | 位置づけ×<br>業務× |
|------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 総括事務主幹（2人） |          | 50%（1人）      | 50%（1人）  |              |
| 事務主幹（1人）   | 100%（1人） |              |          |              |
| 主任（5人）     | 20%（1人）  | 20%（1人）      | 20%（1人）  | 40%（2人）      |
| 主査（53人）    | 10%（5人）  | 9%（5人）       | 19%（10人） | 62%（33人）     |
| 副主査（34人）   |          | 3%（1人）       | 35%（12人） | 62%（21人）     |
| 主事（26人）    | 4%（1人）   | 4%（1人）       | 31%（8人）  | 61%（16人）     |
| 事務員（14人）   | 7%（1人）   |              | 14%（2人）  | 79%（11人）     |

(2) 学校評価について取り組んだこと（当てはまるものすべて、その他記述を含む）



(3) 学校評価の実施において、取り組んでよかったこと（当てはまるものすべて、その他記述を含む）



## 5 共同学校事務室の取組

(1) 共同実施グループ・共同学校事務室で「帳簿点検」以外に取り組んでいること ※

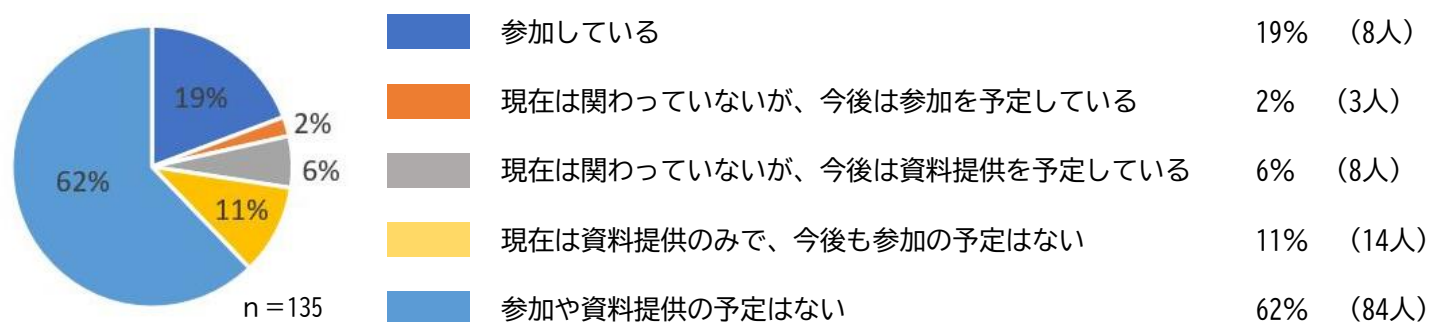
- ・学校徴収金業務の標準化・共同処理
- ・共同で財務研修の実施や資料の共有
- ・一人配置校・他校への業務支援
- ・不在時対応や業務手順のマニュアル化
- ・経験の浅い事務職員へのOJT
- ・共同学校事務室で学校運営協議会への参加

(2) 共同学校事務室で、今後取り組みたいこと ※

- ・学校徴収金業務の統一化
- ・共同学校事務室としての業務改善・共同化
- ・事務職員不在時の支援体制づくり
- ・学校運営協議会への参加や連携
- ・研修・人材育成の充実
- ・学びの環境整備への共同での取組

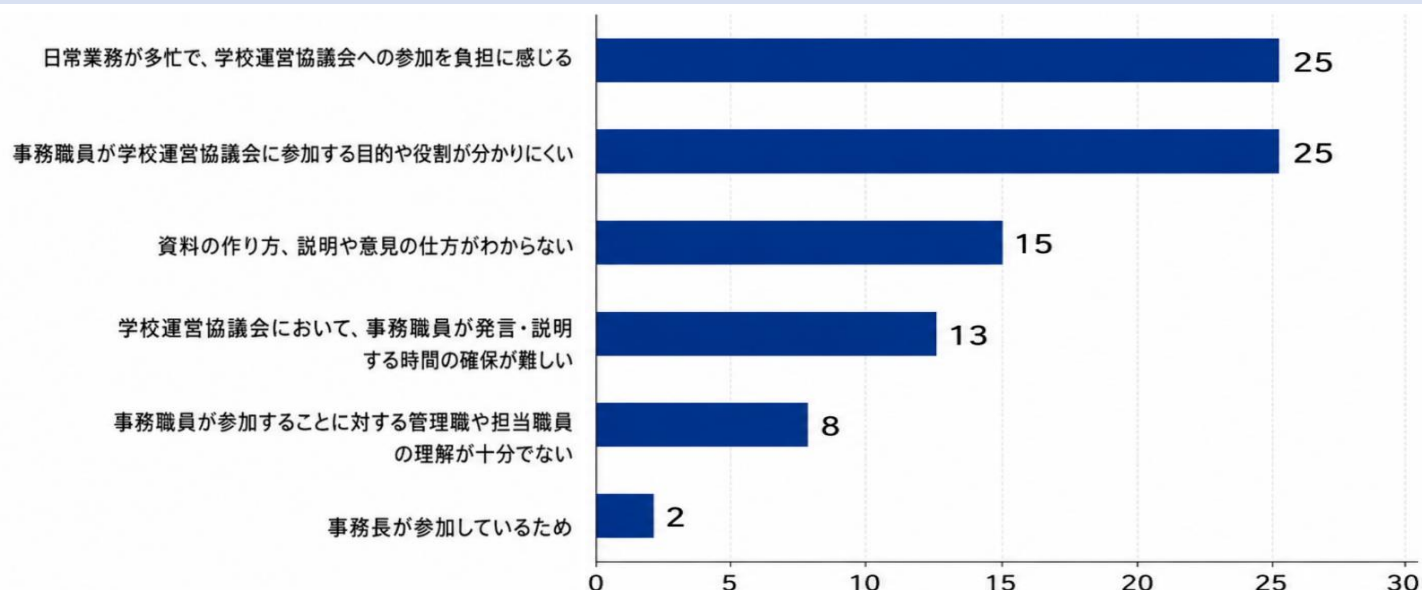
## 6 学校運営協議会への参画

(1) 学校運営協議会に参加してるか

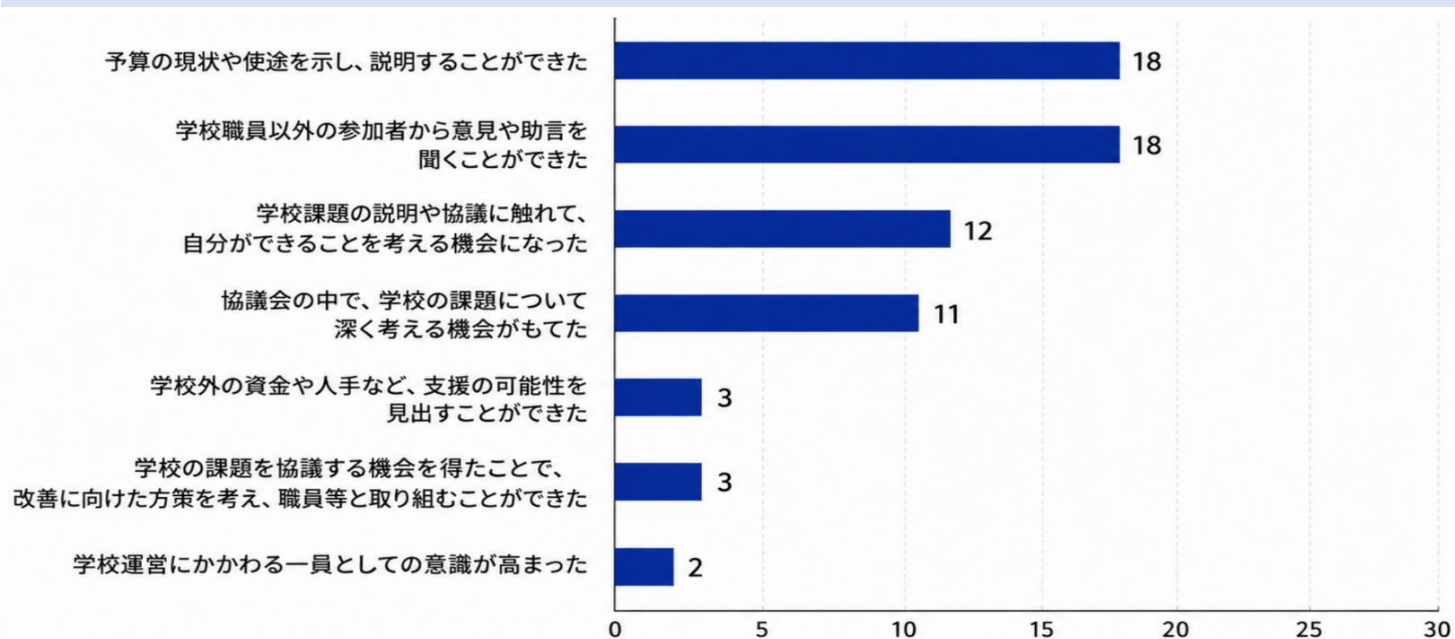


| 職位（人数）     | 参加○      | 関わり×<br>今後の参加○ | 関わり×<br>今後資料提供○ | 資料提供○<br>参加予定× | 参加や<br>資料提供× |
|------------|----------|----------------|-----------------|----------------|--------------|
| 総括事務主幹（2人） | 100%（2人） |                |                 |                |              |
| 事務主幹（1人）   | 100%（1人） |                |                 |                |              |
| 主任（5人）     | 40%（2人）  |                |                 |                | 60%（3人）      |
| 主査（53人）    | 28%（15人） | 4%（2人）         | 8%（4人）          | 8%（4人）         | 52%（28人）     |
| 副主査（34人）   | 12%（4人）  | 3%（1人）         |                 | 6%（2人）         | 79%（27人）     |
| 主事（26人）    | 8%（2人）   |                | 11%（3人）         | 23%（6人）        | 58%（15人）     |
| 事務員（14人）   |          |                | 7%（1人）          | 14%（2人）        | 79%（11人）     |

(2) 「参加や資料提供の予定はない」方はその理由（当てはまるものすべて、その他記述を含む）



(3) 学校運営委員会への参加・資料提供を行ってよかった点（2つ選択式）



(4) 学校運営協議会への参加や資料提供について、共同実施・共同学校事務室単位で取り組んだこと ※

- ・ 資料や情報の共有
- ・ 中学校区での課題の共有
- ・ 他校の学校運営協議会への参加・各校への参加支援